

日本青年の気候変動政策提言を行う プラットフォーム作り

活動掲載ホームページのページビュー数	15,256 ビュー 2015年5月～2016年3月
助成活動がメディアに掲載された回数	13 回
活動の全体目標に対する達成度	40%



COY Tokyo 参加者

◆成果と工夫したポイント

- 成果
・COP21 に向けた交渉官との意見交換会を開き、のべ7人の日本青年が参加。また、青年の意見として政策提言書を提出し、作成には10人が参加。
・COY11 Tokyo を開催し、国内外の青年80人が参加。
- 工夫
日本青年が自らの関心に応じて気候変動問題に長期的に関われるよう、チームごとに参加者を募った。

課 題

気候変動問題は、将来世代にとって看過できない深刻な問題であるが、青年の意見が気候変動政策に反映されるための発信の場、あるいは関心を持つ場が少ない。

活動内容

環境活動に関心はあるが、政策提言に関心がうすい層に対して、気候変動政策に関する意識啓発を行っていく。そこで関心を持った日本の青年層に対し、気候変動問題に関する政策提言のプラットフォーム作りを図る。具体的には、気候変動関連の政策立案者との対話や、青年が政策立案を体験できるような場を企画する。また、国際会議などで海外の青年と協働することを通じて、国内外の気候変動政策に関する意見を発信する場を設ける。



環境省で行った意見交換会

今後の課題

COP21 を受け、気候変動への関心は一時的に高まったが、今後も継続的に青年層の関心を高める必要がある。また、関心を持った層が行動を起こせるよう、企画の実施、政策決定者との対話の場を継続的に設けていく。